

5. 災害調査 (14) 栃木県日光市地震・雪氷複合災害調査 (2013. 2. 26-27)

研究代表者	雪氷防災：上石 勲	実施期間	平成 24 年度
研究参加者	雪氷防災：安達 聖		

[目 的]

2013年2月25日16時23分、栃木県北部、日光市の奥鬼怒温泉付近を震源として発生した地震(M6.3)によって、震源地付近の奥鬼怒温泉へ通じる林道と、震源から北へ約15km離れた福島県桜枝岐村の斜面においても大規模な表層雪崩が誘発された(図1)。本調査では主に日光奥鬼怒温泉付近の雪崩調査結果をまとめたものである。

[実施内容]

調査実施日：2013年2月27日

調査箇所：日光市奥鬼怒地区(図1)

[成果と効果]

2月25日の地震によって、日光奥鬼怒温泉へ通じる林道脇の斜面(標高1100~1300m)で雪崩が多発し、林道が一時通行止めとなった。発生した雪崩は表層雪崩が多く、通常の雪崩と異なり、破断面が不規則である(図2)。図3に示すように、一部では高木が密生しているところからも発生し道路を埋積していた。また、道路脇斜面積雪のブロック状崩壊(図4)や屋根雪の崩落(図5)、平坦部積雪へのクラックなどの現象も見られた(図6)。

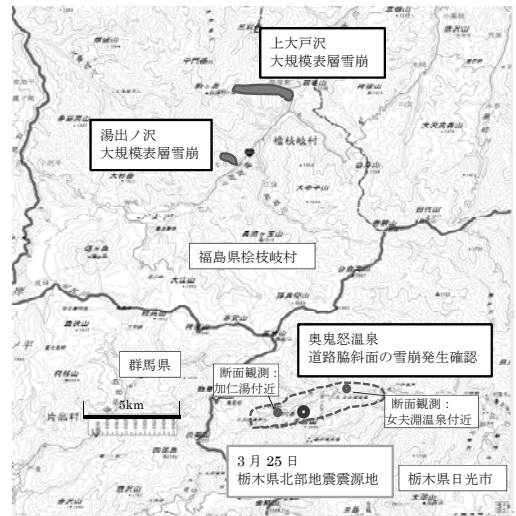


図1 2013. 2. 25 栃木県北部地震によって誘発された雪崩



図2 破断面が不規な表層雪崩



図3 樹木密生地からの雪崩発生



図4 ブロック状の表層崩壊



図5 屋根雪の崩落



図6 平坦部積雪クラック

[行政機関等への貢献]

雪崩発生状況については日光市からの情報を頂き、今後の対策についてのアドバイスをを行った。